

## 平成29年度事業計画（案）

### 1 はじめに

特別養護老人ホーム・指定障害者支援施設「共生園」は、平成14年11月に開設し、15年目に入っています。この間、平成18年7月に開設した指定障害者支援施設「共生園Ⅱ」は11年が経ち、平成26年度に開設した特別養護老人ホーム・ユニット型30床「共生園Ⅲ」も4年目に入ります。

現在、共生園は、床数142床、デイサービスセンター、居宅介護支援事業所を運営するスケールの大きい複合施設へと発展しています。

一方、介護スタッフの欠員状態の克服が課題となっています。求人活動を強めるとともに、引き続き、職場改善等を行い、長く働きつづけることのできる環境づくりをすすめていきます。同時に、より質の高い介護・福祉サービスの提供を目指し、職員のスキルアップを図ります。

平成27年度に改正された介護報酬制度等により、特別養護老人ホームの介護報酬単価、指定障害者支援施設の自立支援費単価の平均は、26年度比で5.2%もの減となりました。その結果、平成27年度の事業収支決算では、開設後初めての赤字決算となりましたが、28年度決算では現場スタッフの努力により収支バランスを回復する見通しとなりました。今後も、少子高齢化、人口減少というわが国の社会現象のなかで福祉行政は一層厳しくなることが想定され、経営の効率化に努め、経営基盤の強化を図っていかねばなりません。

今年度も開設当時の初心に帰り、地域住民により密着し、地域福祉の担い手として評価いただけるよう最善の努力を傾注していきます。

### 2 29年度の基本方針

#### 1 基本目標

- より質の高いサービスの提供と経営の安定化

#### 2 具体的目標

- 欠員の解消と職員福利の拡充
- 働きやすい職場環境づくり
- 接遇マナーの習得
- 稼働率の向上と経費の節減

### 3 具体的な事業の展開

#### 1 法人本部

1. 介護職員の定着及び全事業所の連携の強化を図る。
2. 働きがいのある職場環境づくりと職員福利の向上に努める。
3. 施設内研修会や人事考課制度を定着させ、優秀な人材の確保とサービスの質的向上を図る。
4. より効果的で効率的な事業展開を行い、経営基盤の安定化に努める。
5. 年間行事を企画し、利用者のご家族、地域との交流を深める。
  - ・祝敬老・共生園まつり 9月16日(土)
  - ・入所部門家族交流会 6月開催予定
6. 共生園家族会との連携を強化する。
7. 理事会・評議員会の開催と監査の実施  
理事会 年6回                      評議員会 年3回                      監査 年4回

#### 2 特別養護老人ホーム・特別養護老人ホームⅢ 指定障害者支援施設・指定障害者支援施設Ⅱ

1. 利用者の尊厳（人権、プライバシー、自由）を重視した日常業務を行う。
2. 各種行事を豊かにする。
3. 地域との交流、家族との連携を深める。
4. 健康生活に心がけ、機能訓練と自立への援助に努める。
5. 引き続き、ショートステイの稼働率向上を図る。
6. 退所および入所決定をスピーディに行い、稼働率の向上を図る。
7. 協力病院との連携強化を図り、入所者の入退院頻度の減少に努める。
8. レクリエーションの充実、社会資源の活用を図り個別的サービスに細やかに対応する。
9. 感染対策の充実を図る。

#### 3 デイサービスセンター・障害者生活介護事業

1. 明るさと楽しさを大切に、サービス内容を充実させるとともに、共生園独自のサービスを創造する。
2. 定員（高齢者40人、身障者15人）の見直しを行うとともに、障害者デイサービス事業（障害者生活介護事業）の今後のあり方を検討する。
3. 稼働率の向上に努める。

#### 4 居宅介護支援事業所

1. 必要なときに必要なサービスを利用できることの追求。